

情報連絡員総括表（2023年7月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI 値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI 値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI 値は基準値 ± 0.0 (=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 59 名：回収率 98.3%）

○2023年7月のDI 値は、前月との比較において、「売上高」を含む4つの指標が改善した。「売上高」が6.8ポイント改善したほか、「販売価格」「収益状況」も改善しており、エネルギー・原材料費上昇分を価格に転嫁することで収益圧迫の状況に改善が見られた。

○「製造業」では、前月との比較において「売上高」を含む4つの指標が改善した。特に「売上高」は6.7ポイント改善し、DI 値は0.0ポイントと7か月ぶりにマイナス値を脱した。一方、「雇用人員」は16.6ポイント悪化し、DI 値はマイナス23.3ポイントとなった。「人員不足に新型コロナウイルス感染症の集団感染が重なり、操業度が下がる工場が見受けられる」とのコメントもあるなど、受注増に対応しうる人員の確保ができていない現状がある。

○「非製造業」では、前月との比較において、「売上高」「取引条件」「収益状況」の3指標が改善した。特に「収益状況」は7.0ポイント改善し、DI 値は3.5ポイントと19か月ぶりにプラスに転じた。宿泊業からは「インバウンドが急激に増加しており、今後も団体旅行の増加が期待できる」と更なる景気回復の兆しが見られた。一方で道路貨物運送業からは「全体的に荷動きが悪く、景気が回復している様子は感じられない」「燃料価格を運賃価格に転嫁できない運送業者は、M&Aの買われる側になりつつある」とコメントがあり、業界によって景況の差が見受けられる。

	(DI 値)									
	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	
2023年7月	13.6	4.7	39.0	-1.7	-11.9	-18.6	-16.7	-20.3	-25.4	
2023年6月	6.8	2.3	32.2	-8.5	-15.2	-11.8	-16.7	-11.8	-15.2	
増減	6.8 ↑	2.4 ↓	6.8 ↑	6.8 ↑	3.3 ↑	-6.8 ↓	0.0 -	-8.5 ↓	-10.2 ↓	

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業			非製造業			全体					
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2023年7月	0.0	6.7	ポイント	↑	27.6	6.9	ポイント	↑	13.6	6.8	ポイント	↑
	2023年6月	-6.7				20.7				6.8			
在庫数量	2023年7月	3.3	3.3	ポイント	↓	7.7	0.5	ポイント	↓	4.7	2.4	ポイント	↓
	2023年6月	0.0				7.2				2.3			
販売価格	2023年7月	36.7	13.3	ポイント	↑	41.4	0.0	ポイント	-	39.0	6.8	ポイント	↑
	2023年6月	23.4				41.4				32.2			
取引条件	2023年7月	0.0	10.0	ポイント	↑	-3.5	3.4	ポイント	↑	-1.7	6.8	ポイント	↑
	2023年6月	-10.0				-6.9				-8.5			
収益状況	2023年7月	-26.6	0.1	ポイント	↑	3.5	7.0	ポイント	↑	-11.9	3.3	ポイント	↑
	2023年6月	-26.7				-3.5				-15.2			
資金繰り	2023年7月	-30.0	-10.0	ポイント	↓	-6.9	-3.5	ポイント	↓	-18.6	-6.8	ポイント	↓
	2023年6月	-20.0				-3.4				-11.8			
設備操業度	2023年7月	-16.7	0.0	ポイント	-	/			-16.7	0.0	ポイント	-	
	2023年6月	-16.7							-16.7				
雇用人員	2023年7月	-23.3	-16.6	ポイント	↓	-17.3	-0.1	ポイント	↓	-20.3	-8.5	ポイント	↓
	2023年6月	-6.7				-17.2				-11.8			
業界の景況	2023年7月	-30.0	-16.7	ポイント	↓	-20.7	-3.5	ポイント	↓	-25.4	-10.2	ポイント	↓
	2023年6月	-13.3				-17.2				-15.2			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	1	2	0	1	2	0	1	1	1	2	1	0	0	2	0	1	0	1		
	繊維工業	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1	0	1		
	木材・木製品	0	4	1	0	0	1	0	1	0	3	0	2	0	4	0	1	0	3		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
	印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1		
	窯業・土石製品	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0		
	鉄鋼・金属工業	3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	1	1	0	1	0	2		
	一般機器	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0		
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		
	輸送用機器	3	0	1	0	3	0	1	0	3	1	0	1	2	1	0	1	1	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
非製造業	卸売業	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	/		0	0	0	1		
	小売業	1	2	1	2	3	1	0	2	0	3	0	2			0	3	0	3		
	商店街	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0			0	0	0	1		
	サービス業	3	0	/		3	0	0	0	3	0	1	0			1	0	1	0	4	0
	建設業	2	1			1	0	0	0	0	0	1	0			0	0	0	1	0	3
	運輸業	2	0	/		3	0	1	0	2	1	1	2			0	2	0	2	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

パン	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年のことではあるが、夏の猛暑は消費者の食欲も減退しパンの需要も落ちるため、売上減少時期である。また未だに原材料の値上げがあり、厳しい環境である。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・秋以降から来年夏のゆかたの受注が入り始めた。浜松小幅織物の製造能力に限りがあるため、早めの受注が入っている。綿、絹織物は今のところ生産能力に見合った受注が入っている。
製材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員工場の稼働が前年同月より落ちているのは間違いない。住宅建築需要が低迷したままなのが要因。
骨材・石工品等	<ul style="list-style-type: none"> ・前期同様、売上げが前年より減少しており、収益状況が厳しくなっている。との社がある。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・原材料の高騰により、収益率は著しく悪化。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高等変わらずとなっているが全体的にみた景気観は悪い傾向にある。 ・高齢化が進み技術・技能の伝承が難しい。 ・人員募集についてハローワークに頼っていて応募がなかったが、SNSを利用したところ応募があった。時代は変わった。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の白物家電の国内出荷は金額・台数ともにマイナスとなった。 ・冷蔵庫は出荷減少の影響により生産の前年割れが続いている。 ・家庭用エアコンは出荷金額以上に台数減少が大きく、組合員の売上に影響している。 ・業務用エアコンは輸出の在庫調整などにより生産減となった。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員企業の売り上げは、横ばいから緩やかな回復基調にあると思われる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的には半導体の影響も軽減されて生産が回復してきたが、受注部品によりバラツキが出ている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連の操業度は上がっているが、新型コロナウイルス感染症のクラスター感染がしばしば工場内で発生しており、人手不足との兼ね合いで、操業度の下がる工場も見受けられる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足で新たな受注があっても確保するのが厳しい状況。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界においてモデルチェンジの時期となり業界全体に生産増の状況となっている、半導体不足の影響もだいぶ改善の様子、新車の納期も少しづつではあるが改善の状況。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事関連の災害対策・復旧工事が動き始め出荷が増加しているが、官民ともに大型物件の見込みがなく、年度を通しての需要回復は厳しい。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・売り上げは前年を上回ったものの、原材料の高止まりなどにより収益状況は厳しいものとなった。業界全体で人手不足の状況にあり、需要及び業績回復の足かせとなりそう。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料の高騰・円安による輸入品価格の高騰など、消費者の購買意欲に陰りがある。8月から10月にかけて行われるPayPay10%還元を期待したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の値上げに伴い、安い時にまとめ買いをする傾向にある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、人の動きは少しずつ増加しているように感じる。しかし、7月後半からの猛暑や物価高の影響で、仕入価格は上昇しているにもかかわらず販売価格を下げるなど、小売業者は苦しい状況が続いている。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員旅館の宿泊人員は、前年比105.6%と好転した。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ引き下げられたこともあり、方面別では首都圏や中京圏の地元以外の遠方のお客様が増加した。外国人インバウンドの宿泊も少しずつではあるが発生してきた。また、雇用状況は引き続き人手不足の状況が続く。
	<ul style="list-style-type: none"> ・猛暑による高齢者の出控え傾向がみられ、宿泊人数はやや減少している。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ引き下げられ、首都圏から国内の遠方に旅行する方や海外旅行が増加している。インバウンドが急激に増加しており、今後、中国のビザ発行規制が緩和されることにより団体旅行の増加が期待できる。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・7月も建築資材及び運賃の値上げが続いている。民間の新築工事は大手分譲住宅とハウスメーカーの物件が多く、地元建設会社の仕事が減少している。中古物件を購入してリフォームする人の問合せが増えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県のみ受注予定が少ない工場が多いと聞いている。また、予定をしていた案件が遅れている話をよく聞く。それに伴い、工場などに空きが出て操業度が下がっている傾向がある。無理に空きを埋める仕事は効率が悪く、あまり良くない。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同時期に比べると、一過性ではあるが、余剰感がある模様。暑さもあり、稼働状況は鈍い。ただ、秋口、年末に向けて需要は旺盛で、今後、人手不足が再燃してくる可能性が大きい。価格維持から上昇に転じていく動きも活発化している。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・原油価格がロシア・ウクライナ進攻前に戻った事を理由に日本政府は元売り各社に支給している補助金の段階的な減額と打ち切りを決定した。今後、燃料が高騰化した場合、運送料金を値上げしなければ採算が取れない。しかし、運送業者は荷主に対する取引上の立場が弱く、値下げ交渉に応じてもらいにくい。また、社会問題のひとつともいえる再配達の高コストが、燃料費をさらに圧迫している。
	<ul style="list-style-type: none"> ・原油価格の上昇、補助の減少をうけて、再び燃料価格が上がるのではないかと危惧している。運賃価格に転換出来ない運送業者は経営悪化の影響でM&Aの買われる側になりつつある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に荷動きが悪い。景気が回復している様子は感じられない。自動車部品は好調だと聞いているが、取引先の自動車部品工場は大幅な減産となり、輸送の便数が減少している。今後、急な増便に対応できるか不安。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・運送収入は前年同月と比較して11ポイント上がっているものの、コロナ前との比較ではマイナス27%で先月並みの水準にとどまっている。コロナによるドライバーの減少により運送収入が頭打ちになってきている。人材確保にむけて労働条件を改善するためには運賃改定など抜本的な経営改善が急務である。

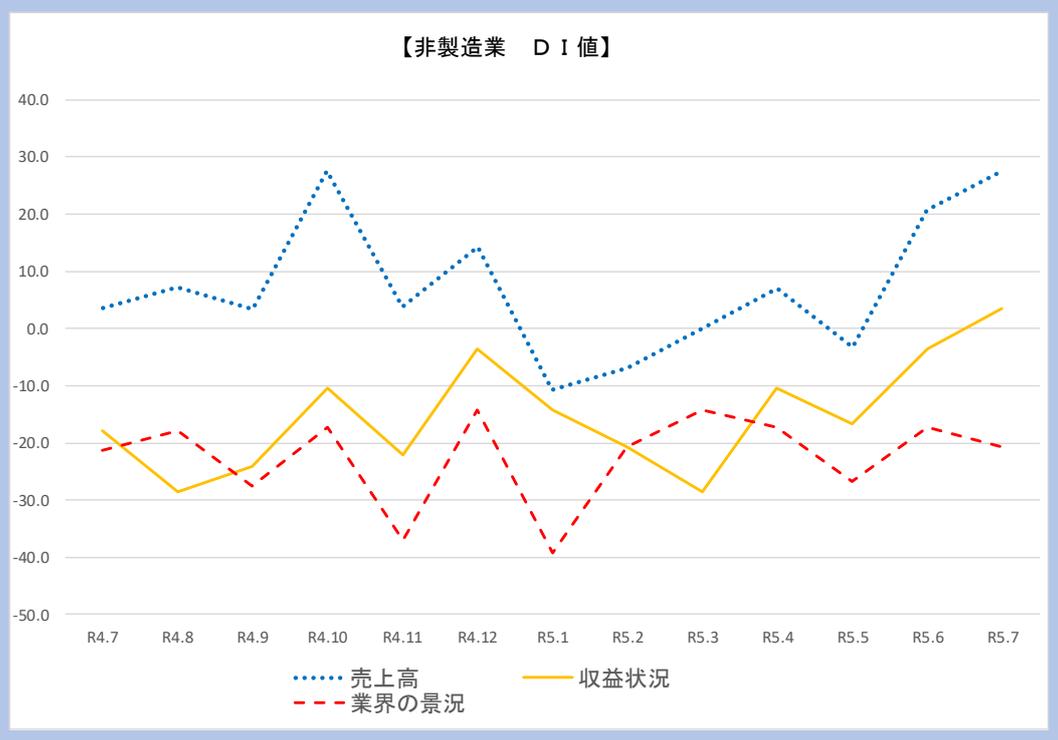
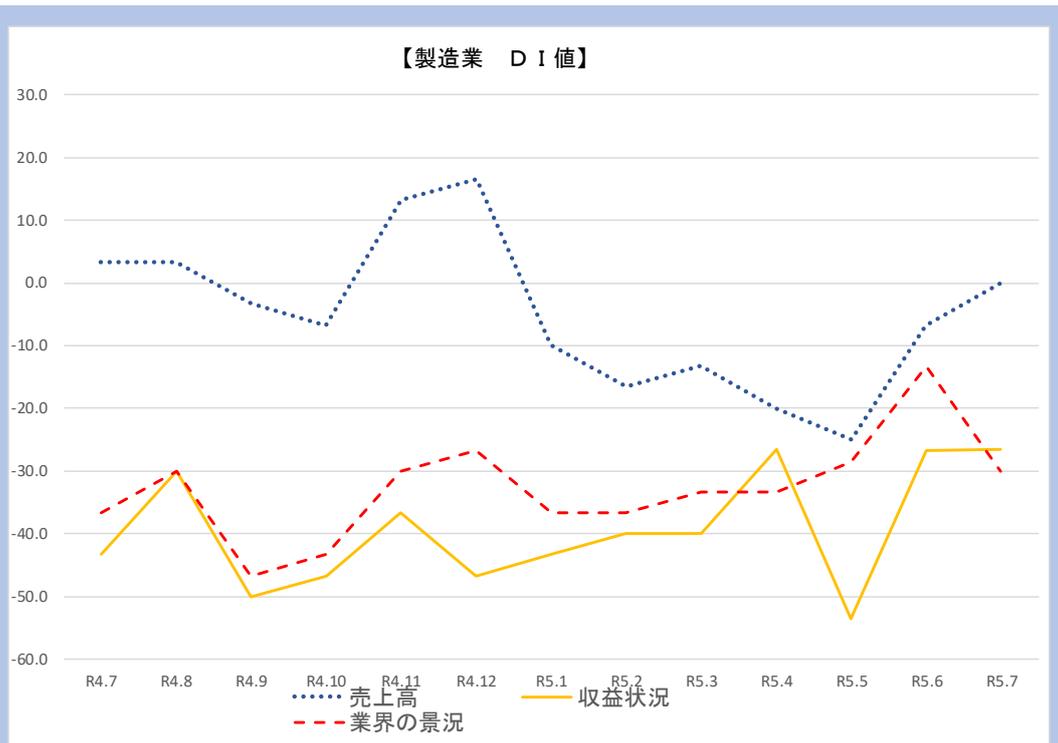
4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2022年7月期～2023年7月期までの推移

全体	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7
売上高	3.5	5.2	0.0	10.2	8.8	15.5	-10.3	-11.9	-6.9	-6.8	-13.8	6.8	13.6
収益状況	-31.0	-29.3	-37.2	-28.9	-29.9	-25.9	-29.3	-30.5	-34.5	-18.7	-34.5	-15.2	-11.9
業界の景況	-29.3	-24.1	-37.3	-30.5	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8	-24.1	-25.4	-27.6	-15.2	-25.4

製造業	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7
売上高	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0
収益状況	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6
業界の景況	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0

非製造業	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7
売上高	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6
収益状況	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5
業界の景況	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7



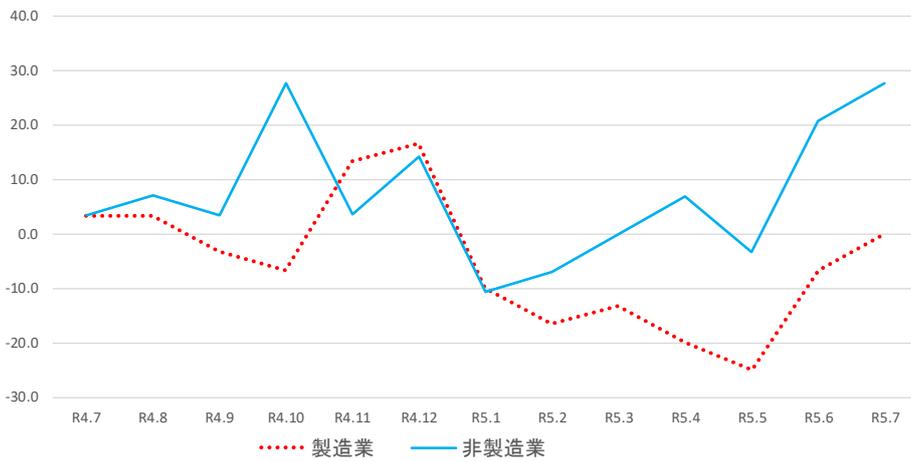
■ 2022年7月期～2023年7月期までの推移

売上高	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7
製造業	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0
非製造業	3.5	7.1	3.4	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6

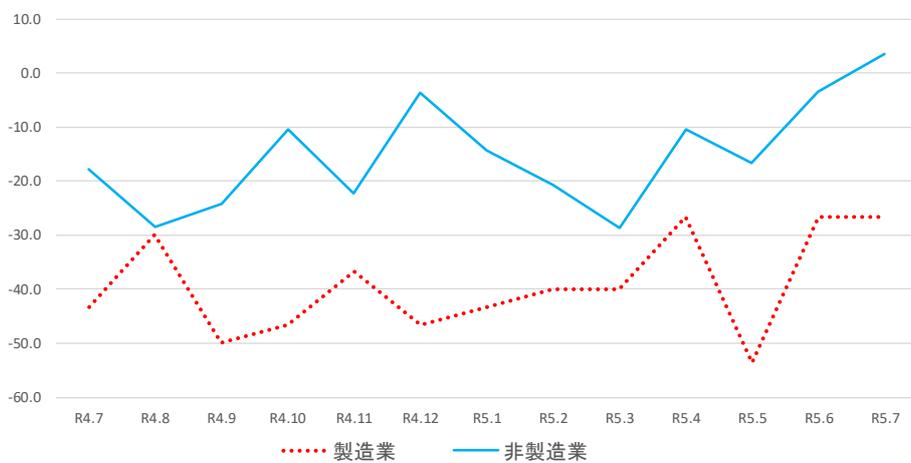
収益状況	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7
製造業	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6
非製造業	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5

業界の景況	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7
製造業	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0
非製造業	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7

【売上高／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 D I 値】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較 D I 値】

